



題字 井口 文章
再刊 第282号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2018

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：敬称から錦城生の意識を調査
二面：どう感じてる？ 医学部不正入試問題
吹奏楽部、室内楽部がコンサート開催

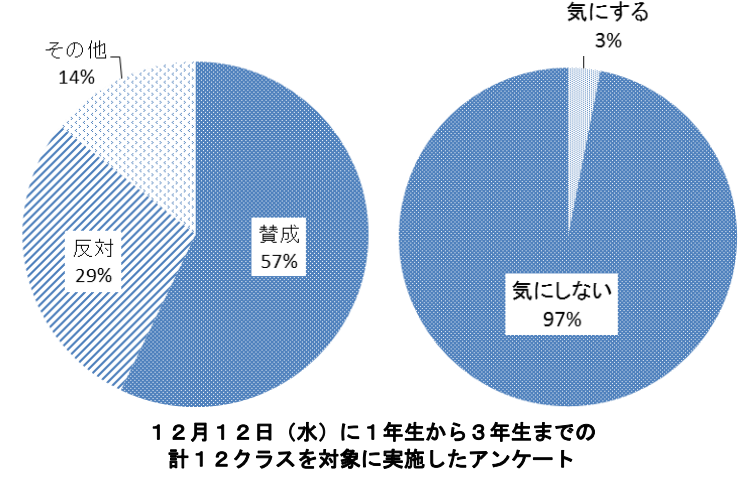
敬称、あなたはどうか考える

錦城生の意識を調査

錦城高校新聞では区別している「さん」「くん」の敬称を、全国紙は「さん」で統一している。そこで敬称を区別していることに対してアンケートを行った。錦城生の意見を聞いた。

ある日、編集室で話しているときに、敬称についての話題が出た。錦城高校新聞では敬称を分けているが、その必要があるのだろうか。編集委員生徒には「さん」、男子生徒

錦城新聞の「さん」呼び 男女の呼び方を区別するのを統一に賛成？反対？ 気にしますか？ 気にしない？



467人にアンケート実施
「錦城高校新聞で、男子と女子で呼び方を区別していることに気がしますが、もしくは違和感がありますか」という質問に対し、97%の人が「気にしない」と回答した。理由としては「幼いときからそうだから」「統一すると違和感がある」との意見が出た。一方で、少数派の意見が出た。一方

「さん」付けで呼んでいる英語科の黒澤齊先生に話を聞いた。実際に生徒を男女問わず呼ぶ方の問題には2つの問題があることが考えられる。1つは男女の「区別」の問題。もう1つは上下関係の問題だ。「さん」「くん」はこれらの

賛成	反対
統一感がある	男女区別がつかない
社会ではそうだから	慣れているものがない
より平等だから	区別した方がわかりやすい
反対する理由がない	

た。幼い頃から区別して呼ばれていた経験から男子と女子で呼び方の区別があることを気にしていない人が多いことが分かった。
「錦城高校新聞で呼び方を『さん』で統一することに賛成か反対か」という質問には賛成と回答した人が過半数を占めた。その理由として「社会に出ると統一されるから」「統一した方が差別はない」というものが出た。一方約3割の反対意見には「区別した方がわかりやすい」というものが出た。この先、社会に出てからのことを考え、呼び方を「さん」で統一することは良いことだと思う錦城生がおおむね多いということが分かる。ちなみに「どちらともいえない」という回答もあつた。アンケートから、現状錦城生の多数が男女の呼び方に対して違和感はないものの、敬称を「さん」に統一することには過半数が賛成しているという結果になった。

11月18日(日)に行われた東京都新人大会で、8本中7本を当てた荒川英貴くん(2A)が来年8月に行われる国民体育大会の都強化選手に選ばれた。強化選手は、同大会で8本中7本以上当てた人が選ばれる。大会が終わった時、荒川くんはそのことを知らず、電話で初めて知ったそう。当時のことを「今まで大会で好成績を収めたことが無かったので強化選手に選ばれてとても嬉しいです」と笑顔で話した。荒川くんは大会までの期間、1本1本に対して良かったことや悪かったことを頭の中や常々考え、練習に臨んでいた。今大会ではそれが功を奏し、思った通りに弓を引けたそう。



国体に向けて練習に励む荒川くん

国体強化選手に選出

学部選択の第一歩

1年生情報集中講義開かれる

12月10日(月)に1年生が、大学の先生から学部について話を聞く情報集中講義を受けた。それぞれの講義で1年生は、希望の学部についての話を熱心に聞いた。

「経済学は辞書で『人間生活に必要な財貨、サービスの生産・分配・消費する活動』。また、それらを通じて形成される社会活動」となると、お金の絡まなくても人と物、サービスの関わりがある活動は、

石川さんは「経済学はお金儲けの学問ではなく、人がより良い暮らしを送るためのもの。どんな仕事にも応用が利きます」と話した。

卒業後は社会や理科の教員や観光、自治体の公務員などを目指す人が多いという。「屋外に出ていくのが好きな人などが地理学に向いていると思います」と落合さんは語った。(巴)蓮梅

本日、12月20日(木)
ルネ小平にて 18時開場 18時半開演
室内楽部 クリスマスコンサート開催

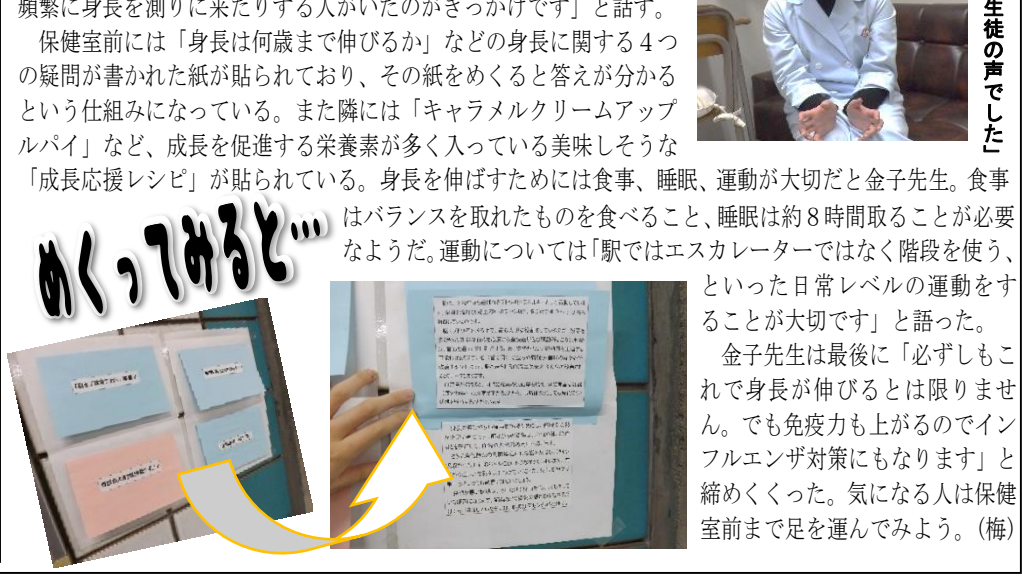
むらさき草

先週の金曜日ロードショーでまたまた観た映画がある。クリスマスの名作、映画『ホーム・アローン』(1990)だ。主人公ケビン、兄弟の喧嘩が原因で母親に罰として屋根裏部屋で寝るようになってしまう。理不尽な対応に彼は「最低の家族だ。こんな家族、消えちまえ！」と怒号。そのまま家族は手違いで旅行に行ってしまう。1人取り残されたケビン、翌朝、1人きりになって彼は願いが叶った喜びを謳歌したものの、やがて広い家にひとりぼっちで寂しさに気づく。一方でケビンの母親ケイトは、ケビンを置いてきてしまったことを後悔し、必死に帰りの飛行機を探そうと奮闘する。ケビンは途中でサンタに願う。「今年僕はクリスマスプレゼントを欲しいから、その代わりに家族を返してください」。そして見事ドジな泥棒コンビを撃退したあと、家族が帰り、無事仲直り。ケヴィンを通して親が子どもの成長を感じ、親子が仲直りをするという物語、重松清の『カレーライス』は読んでほしいものがある。これはないのだから。小学校の教科書にも載っていた。ささいなことの原因でお父さんと喧嘩した主人公は、お父さんの作るカレーライスは甘すぎると不満を抱く。ある日、風邪をひいたお父さんの代わりに主人公が辛口カレーを作る。風邪をひいた喉が痛くても、お父さんは「そうか、辛口か」と喜びながらカレーを食べる描写があった。この前、夜のドライブに行くことを許してもらえず、親と喧嘩になった。ひどい家族だと嘆いた。けれども、『ホーム・アローン』をのんびり観て、子どもを心配する母親ケイトの気持ちがちよつと分かった。家族について少し考える作品も思い出して、朝のお弁当作りなど、やっぱり支えてくれていることをありがたく思う。冬休みになるので、恥ずかしいが少し感謝を伝えたい。(菘)

あなたの疑問をめぐって解決！

保健室の豆知識コーナー

「きっかけは生徒の声でした」
今まで「睡眠時間アンケート」などの掲示企画を行ってきた保健室。12月12日(水)から新たに身長をテーマにした掲示を始めた。保健室の金子見子先生は「身長がどうやったら伸びるのか質問されたり、頻りに身長を測りに来たりする人がいたのがきっかけです」と話す。保健室前には「身長は何歳まで伸びるか」などの身長に関する4つの疑問が書かれた紙が貼られており、その紙をめくると答えが分かるという仕組みになっている。また隣には「キャラメルクリームアップパイ」など、成長を促進する栄養素が多く入っている美味しそうな「成長応援レシピ」が貼られている。身長を伸ばすためには食事、睡眠、運動が大切だと金子先生。食事はバランスを取ったものを食べる、睡眠は約8時間取る必要がある。運動については「駅ではエスカレーターではなく階段を使う」といった日常レベルの運動をすることが大切だと語った。金子先生は最後に「必ずしもこれで身長が伸びるとは限りませんが、でも免疫力も上がるのでインフルエンザ対策にもなります」と締めくくった。気になる人は保健室前まで足を運んでみよう。(梅)



緊急 「医学部不正入試」から見えてきたもの

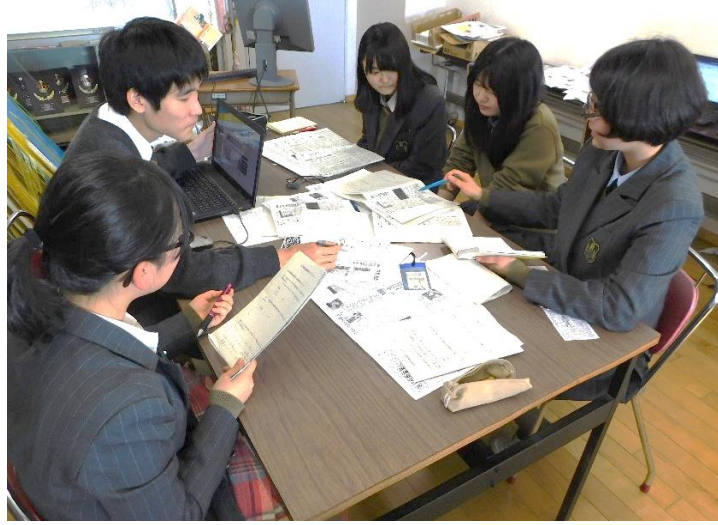
2年理系「納得できない」7割

最近話題になっている医学部の不正入試問題。高校生には身近なこの問題について、生徒へのアンケートと学年ごとの意識を調査するためのインタビューを実施した。また、錦城で働く女性教員数名にも話を聞いた。(編集部共同取材)

東京医科大学が今年2月に実施した医学部医学科の一般入試で、受験者側の点数をいまま女子受験者の点数を一律に減点し、合格者数を調整していたことがわかった。2018年8月2日朝日新聞デジタルより。また、今月14日、医学部医学科がある全国の81大学を調査した結果、女性や浪人回数が多い受験生を不利に扱ったり、卒業生の子ら一部の受験生を優遇したりするなど9大学が不適切な入試を行い、1大学が「その可能

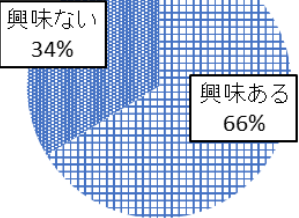
性が高い」との最終結果が、文部科学省の調べで公表された(2018年12月14日朝日新聞デジタルより)。この「医学部不正入試問題」について錦城生はどう思っているのか、来年度に入試を控える55回生の理系の2クラス生徒(男女の別別なく)を対象にこの問題に関するアンケートを行った。

アンケートではまず、順天堂大学が医学部入試の2次試験を行い、1大学が「その可能

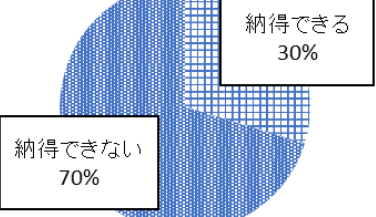


医学部不正入試問題について議論を交わす編集委員たち

医学部不正入試問題に興味があるか



大学の説明に納得できるか



12月13日(木)アンケート実施

「不正入試問題に興味があるか」という質問に対して「はい」と答えたのは49人(全体の66%)、「いいえ」と答えたのは25人(34%)だった。また「説明に納得できるか」という質問に対して「納得できる」と答えたのは22人(30%)、「納得できない」と答えたのは52人(70%)だった。納得できると回答した人からは「現場の事情があり、それぞれ仕方ない事情がある」という意見もあったが、大多数の生徒は「納得できない」と回答している。「納得できない」と回答した人の中では、特に「男女の差別を感じる」という意見が目立った。順天堂大学側はこの問題を差別ではないと主張しているものの、男女差別との関連を指摘する錦城生が多くなることが調査からわかった。

「不正入試問題に興味があるか」という質問に対して「はい」と答えたのは49人(全体の66%)、「いいえ」と答えたのは25人(34%)だった。また「説明に納得できるか」という質問に対して「納得できる」と答えたのは22人(30%)、「納得できない」と答えたのは52人(70%)だった。納得できると回答した人からは「現場の事情があり、それぞれ仕方ない事情がある」という意見もあったが、大多数の生徒は「納得できない」と回答している。「納得できない」と回答した人の中では、特に「男女の差別を感じる」という意見が目立った。順天堂大学側はこの問題を差別ではないと主張しているものの、男女差別との関連を指摘する錦城生が多くなることが調査からわかった。

「不正入試問題に興味があるか」という質問に対して「はい」と答えたのは49人(全体の66%)、「いいえ」と答えたのは25人(34%)だった。また「説明に納得できるか」という質問に対して「納得できる」と答えたのは22人(30%)、「納得できない」と答えたのは52人(70%)だった。納得できると回答した人からは「現場の事情があり、それぞれ仕方ない事情がある」という意見もあったが、大多数の生徒は「納得できない」と回答している。「納得できない」と回答した人の中では、特に「男女の差別を感じる」という意見が目立った。順天堂大学側はこの問題を差別ではないと主張しているものの、男女差別との関連を指摘する錦城生が多くなることが調査からわかった。

納得できない理由
男女差別を感じる
後付けの理由にしか感じない
受験者側への事後対応が不十分
頑張った人の夢を踏みにじった

1年生と3年生の声

アンケートと同じ質問を1年生の男女数人にも聞いた。ある男子生徒は「論理的にはダメだと分かっているけれど、自分は心の一端では別にいいんじゃないかと思ってしまう部分もある」と語った。一方、ある女子生徒は、大学側が考えている男女のイメージに全員が当てはまるわけではないという。「自分の力で変えることのできない性別を理由にされたくない」と語る。受験間近の3年生の女子生徒は、女性が出産で退職したり、長期休暇をとったりする可能性が高いことが問題に関わっているのではと話す。「イクメン」という言葉はあるが、男性の方が仕事を続けてくれる可能性が高いと思う人が多いためには」と指摘した。

女性教員が考える「不正入試問題」

(A先生) 医者として働き続けるに勤める20代の女性教員3人に匿名で話を聞いた。今回の事件をどう受けとめていますか (A先生) 誰でも合格したいと思って受けているはずなのに、もし自分自身に起きていたらと考えると嫌です。(B先生) やっぱ女性って差別されているのかな。(C先生) 私は女子大出身ですが、大学時代交流のあった近隣大学の男子学生から、女子大に通っているという理由で下に見られているように感じたことがありました。女子大だから俺たちの方が上って思われがちのように感じます。(B先生) 私が飲食店でアルバイトをしていた時は「ホール志望は女の子で若い方がいい」とみたいな採用基準がありました。(A先生) こういう問題もあるけど女子、男子からどうせダメだ」と自分の可能性も捨てるのもつたないです。錦城生はなんでもやってみてほしい。(加)

会場を沸かせたクリスマスミュージック

12月16日(日)に室内楽部が小平市少年少女合唱団と共に、ガスマニュージウムでクリスマスコンサートを行った。

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

客席の目の前でパフォーマンスをする

12月16日(日)に室内楽部が小平市少年少女合唱団と共に、ガスマニュージウムでクリスマスコンサートを行った。

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

不正入試問題を話題に、実際に働く女性として錦城高校に勤める20代の女性教員3人に匿名で話を聞いた。

(B先生) 医者として働き続けるに勤める人材を残したいというのわかります。でも、それならもともと条件を提示して「それでも入りたいたい人ほど」とするべきだと思えます。(C先生) 私は女子大出身ですが、大学時代交流のあった近隣大学の男子学生から、女子大に通っているという理由で下に見られているように感じたことがありました。女子大だから俺たちの方が上って思われがちのように感じます。(B先生) 私が飲食店でアルバイトをしていた時は「ホール志望は女の子で若い方がいい」とみたいな採用基準がありました。(A先生) こういう問題もあるけど女子、男子からどうせダメだ」と自分の可能性も捨てるのもつたないです。錦城生はなんでもやってみてほしい。(加)

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

吹奏楽部

吹奏楽部が12月18日(火)にルネこだいらで、今年で40回目となるクリスマスコンサートを開いた。第一部では、白い制服に身を包んだ部員たちがクリスマスにちなんだ曲や、幻想的なクラシック曲を演奏。最初に演奏した真島俊夫作曲の『ナヴァール・ブルー』では、華やかで明るい雰囲気の中で、曲を息ぴったりにつなげ、場を盛り上げた。第二部は有名なポップソングを吹奏楽で披露する。サン

9ヶ月間の留学生生活を終えて

12月で錦城を去るドイツからの留学生、クルーゼルム・イネスさん(1E)に話を聞いた。9か月に及び日本の滞在期間について聞くと、所属していた室内楽部での活動が1番印象に残っていると語る。実際、日本に来て最初に出来た友達とは部活の仲間で、母国ドイツにはない部活の合宿はとても楽しかったそうだ。これから行われるクリスマスコンサートで仲間とともに演奏するのがとても楽しみだという。勉強面では特に現代文に興味深く「担当の奥嶋陽翔先生の英語が上手でとても優しくかったです。また奥嶋先生が日本語の本を貸してくれたので、日本語が上手になりました」とイネスさん。他にも美術や書道などの芸術科目にも果敢に取り組んだそうだ。錦城祭に関しては「みんなで1つのものを作ることはすごいと思います。これもドイツにはないものだから楽しかったです」と流暢な日本語で語った。(李) Danke schön für alles! Ich liebe Kinjo! (みんなにありがとう! 錦城だいすき!)

生物部に新しい命 モモツトの兄弟誕生

生物部に新たな命が生まれ紙が敷かれていた。また体のた。11月23日(金)に誕生した負担を考えて、室温は20度強アビシニアンとテッセルのモに設定している。この3兄弟は成長した後引赤尾凜さん(1G)と木野和奏き取ってもらうことになっている。基本的に生物部に関係がある人に譲るが、人がいない場合は募集するそうだ(12月10日時点)。生物部員の愛情を一心に受けて成長しているモモツトたち。すくすくと育つことを願おう。

ペットメモ

げっ歯目、テンジクネズミ科、夜行性の哺乳類で体長約25センチ。原産地は南米で、もとは食用として飼育されていた。警戒心が強く臆病だが、好奇心旺盛で感受性豊かな一面も。懐くまでに時間がかかることが多く、環境・エサなど様々な面の変化に敏感なので飼育には注意が必要だ。(蓮)

生徒会動静

11.27~12.20

12月12日(水) 図書委員会
12月13日(木) スキー委員会
HR委員会

錦城46回生で元新聞委員会委員長の中山涼子さんに関する記事が12月18日(火)の朝日新聞朝刊に掲載されています。図書室で借りることができますので、ぜひご覧ください。

大会報告

映画研究部
11月25日(日)
▽第41回東京都高等学校文化祭放送部門
ビデオメッセージ部門第3位
ビデオドラマ部門 第3位

男子バレーボール部
12月16日(日)
▽私学大会 1回戦敗退

大会報告

映画研究部
11月25日(日)
▽第41回東京都高等学校文化祭放送部門
ビデオメッセージ部門第3位
ビデオドラマ部門 第3位